

◇ 博物館だより ◇

ナイフ博物館

Knife Museum

〒501-3821 岐阜県関市平賀町7

<http://www.sekikanko.jp/j/midokoro/hamono/04.html>

TEL: 0575-24-2132

1. 博物館概要

ナイフの紀元は遠く石器時代に始まり、狩猟するという人間の本能には、なくてはならない道具であった。現代の家庭で使われる包丁やハサミ等は、この石器時代のナイフが進化したものと見えよう。ナイフの魅力をあますところなく見せてくれるのが、ナイフの博物館である。

ナイフ博物館は、刃物の街岐阜県関市に位置し、恵まれた自然の中に、米松の原木を丸太のままで組み上げたカナダ風のログハウス博物館である。日本はもちろん、アメリカやヨーロッパ、東南アジアなどの珍しいナイフを1500点以上収蔵している。この中には、ギネスブックに載る世界一大きなロックナイフから、世界一小さなロックナイフまで世界数十ヶ国より優秀なナイフ、珍しいナイフ、数少ない貴重なナイフ等が多く集められている。

このナイフ博物館を設立し、運営しているのは日本におけるナイフのトップメーカーの一つであるガーバー・サカイ株式会社である。博物館は昭和62年に設立されて以来、訪れた客数は年間約5000人に達している。

2. 展示品概要

博物館は、**図1**に示すように、自然を意識した2階建てのログハウスである。1階、2階合わせて、総面積は約90平方メートルである。**図2**に、展示室の内部の様子を示す。館内には、アメリカやドイツ、フィンランドなどの著名なメーカーの代表的なナイフから、もっぱらナイフ作りの名人が客の注文に応じて作ったカスタムナイフまで数多く展示されている。

ここでは、ナイフ博物館の展示品を幾つかを紹介する。1つは、世界最小ロックナイフである。このナイフは全長が45mmであるが、折り畳むと20mmになる。もう1つは、ガリバースペシャルナイフと呼ばれている世界最大のロックナイフである。ブレードはステンレス・スチール製で、ハンドルはプビンガと呼ばれる西アフリカの木で作られている。ナイフの全長は5.1m、丈身の長さは2.2m、総重量は600kgにも達している。

そのほかにも、1932年ドイツのゾーリングンのブオッカ社で製作され、ヒトラーがナチの宣伝用に用いられたナイフの本物も展示されている。**図3**は展示品の一つ、シェフィールド(イングランド)のイパーソン社による1887年製のナイフである。また、**図4**は、西ドイツ屈指のマイスターが自らの腕と誇りを世に問うため作り上げた、世界に500本しか存在しないナイフの芸術品である。



図1 博物館外観



(a)



(b)

図2 展示室内部の様子

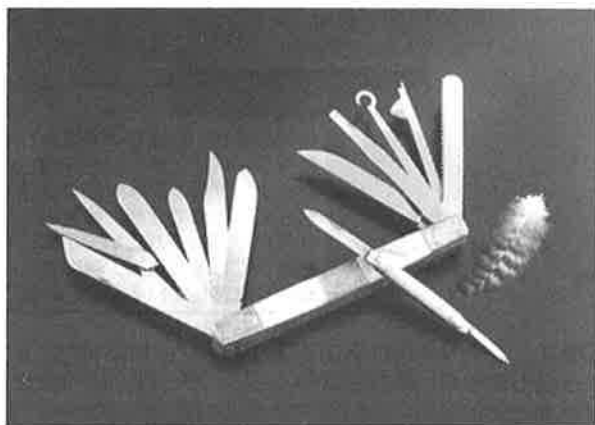


図3 イバーソン社による1887年製のナイフ

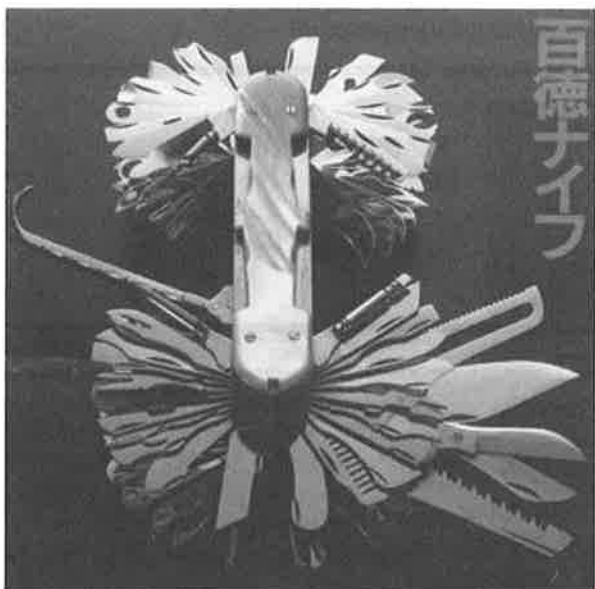


図4 世界に500本しか存在しないナイフの芸術品

3. ナイフの製作

ナイフ博物館には、カスタムナイフ製作のクラブもあり、個人のナイフ製作を応援している。博物館に隣接する空間にナイフ製作に必要な設備があり、週末になると、これらの設備はクラブのメンバーに開放する。ベテランのスタッフから指導を受けながら自分の手で、シースナイフ(登山ナイフ)やフォールディングナイフ(折りたたみナイフ)を作ることができる。ナイフ製作の主な段階を以下に示す。

- (1) デザイン：製品図面を起こす。
- (2) CAD図面作成：図面を基にCAD作成。
- (3) 金型作成：CADに基づき部品の抜き型、ハンドル成形型等作成する。
- (4) プレス加工，レーザ加工：各部分にことなり両加工で、パーツを作成する。
- (5) カッター加工：ブレードおよび背金の鍵部を切削加工する。
- (6) 熱処理：部品の焼き入れ，焼戻しを行なう。適切な温度設定(焼き入れ温度：950～1,070℃)がナイフの切れ味と耐久性を決定する。

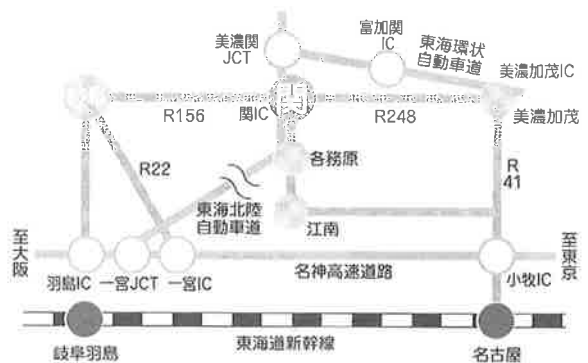
(7) ブレードの切削，研磨加工：特にブレードの表面をきれいに仕上げるのが大切である。また、各パーツは図面の寸法に合わせ、部品の周囲，平面を研磨する。

(8) 組み立て作業：各部品を組み立てナイフにする。

(9) ナイフ本体研磨作業：組み立てられたナイフを最終研磨する。

(10) 刃付け作業：グラインダーで荒刃付け後，皮バフによるバリ取り仕上げ，一定の刃角度にする。

(11) 洗浄作業：仕上がったナイフを洗浄液で洗う。



(a)



(b)

図5 博物館へのアクセスマップ

4. 博物館へのアクセス

図5に、博物館周辺のアクセスマップを示す。ご興味のある方は、ぜひ一度ご来館いただければ幸いである。1本のナイフから新しいロマンが発見できるかもしれない。

住所：岐阜県関市平賀7

TEL：0575-24-2132

開館時間：A.M. 10:00～P.M. 4:00

休館日：年末年始，お盆休み

入館料：大人500円，小人200円

団体割引(10人以上)大人300円，小人100円

詳細については、下記のガーバー・サカイ株式会社のホームページもご覧下さい。

<http://www.gsakai.co.jp>

(文責：坂井澄雄)